

釣りを楽しむボートオーナーと漁業者との海上でのトラブルは各地で後を絶たない。それを解決しようとしてお互いが友好的に共存できる海域が香川県小豆島に実現し、今後のモデルとして注目されている。

小豆島町の内海漁業協同組合と香川、岡山、兵庫などからボートや遊漁船で出かけて、小豆島町沖の海で釣りを楽し

遊漁者と漁業者のトラブルのない海を実現

和やかに釣り大会と稚魚放流

小豆島・内海地区漁場利用協定協議会

むん々の諸団体が構成された内海地区漁場利用協定協議会(UFC)がこども10月1日、釣り大会と稚魚放流を、小豆島町苗羽を会場に行った。

この協議会は平成27年7月

環境美化を目指してお互いが友好関係を築き、協力し合っ

て取り組もうと発足した。

対立よりも協調を選択した

両者の賢明な判断は見事に功

を奏し、その後トラブルは解

消し穏やかな海に変わって



参加者はまず受け付けで手続き



入賞者と記念撮影の塩田幸雄
小豆島町長

に、それまで小豆島町沖の操業海域で起きていた、漁業者と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

解消や水産資源の枯渇対策、

に、それまで小豆島町沖の操

業海域で起きていた、漁業者

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

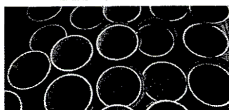
と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル

と遊漁者の度重なるトラブル



放流の稚魚が到着



マダイとアコウの稚魚をバケツに移して放流準備



各艇が放流場所に集結して一斉に放す

こうした成果を見て、協議会に参加するメンバーも順調に増えてきている。町もこの

趣旨に賛同し支援に力を入れている。

この日も、マイボートや遊漁船で各地から集まった多くの参加者と関係者が和気あ

いいと稚しを楽しんだ。

6時30分からの受け付けを

和やかな食事タイムで

くつろぎのひととき

子どもたちがふるさとの海に

稚魚を放流

放流には地元内海小学校の

児童と親たちも参加。香川

県の漁業指導船「こどもぎ」

に乗船し、参加艇とともに放

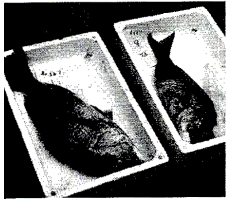
流地点に向かい、現場の海で

それぞれに艇から一斉に稚魚

を放流した。



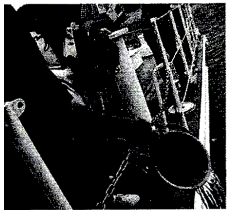
各地から集まった参加艇



検量に持ち込まれた釣果のマダイ



和やかな食事タイムでくつろぎのひととき



子どもたちがふるさとの海に稚魚を放流

14時30分からはギジハタ(アコウ)1200尾とマダイ5000尾の稚魚の放流に臨んだ。

放流には地元内海小学校の児童と親たちも参加。香川県の漁業指導船「こどもぎ」に乗船し、参加艇とともに放流地点に向かい、現場の海でそれぞれに艇から一斉に稚魚を放流した。

児童たちも、年々漁獲量が減っている現状を教わり、自分たちの食卓と海のつながりを実感することが出来た。

UFCでは今後も漁業者と遊漁者が協力し合っ

た取り組みを重ね、全国でも海を大切に

する気運が高まるモデルになればと願っている。